

ささえあいの家への参加動機と参加して思ったことを語り合った

立元：足を悪くして今活動できていないが。大工が大好きで何でもやります。ささえあいの家のフローリング工事もやらせてもらいました。

困ったことがある人があったら、我々で助け合っていけたらいいと思っています。

見違えるような家にしたが、これは一人の力ではなく、みんなの力でできたことです。まち全体が助け合っていきたい。

坂道をしんどいと思う人がいます。楽にここへも来られるようにしたら、もっと多くの人の利用があるだろうと思います。

水戸部：行けばいつでもお茶をどうぞと言ってもらえ、温かいところです。相談も聞いてもらえます。聞いてもらおうと心が開けると思います。ずっと今までどおり温かい場所として、続けていけばいいと思います。

太田：「いつもいられる場所があるといい、福祉活動の拠点があるといい」と言っていたら、ささえあいの家としてできました。

少しずつ、わずかな時間を割いて、互いに支え合っていけたらいいと思います。

敷居が高いと言う人がまだいます。気軽に寄れる場所になるといいと思います。

大前：友達と話せるので参加しました。今まで知らなかったつつじが丘のこともよくわかりました。

松が丘 1 丁目からは遠いです。近所の人を誘っても、遠いからねえと言われます。早く松が丘からも来られるようにしたらいいと思います。

大澤：営繕の会の仲間になりました。動機は去年役員をやってつながりができたからです。年を取ると電球一つ変えるにも苦勞すると思います。助け合ったらいいと思います。

山下：立ちあがる時から関わっていました。立ち上げには大変なことがありました。

エネルギーとパワーとやる気があってできました。

当時の人たちにありがとうと言いたいです。

大竹：電気工事をやっていたので、生活支援ボランティアに応募して以来関わっています。ちょっとしたことでも役だったなあと思えます。自分は 45 歳です。これくらいの年代の人を誘いたいと思います。

名知：私でもできることがある。ちょこっとできると思って入会させていただきました。只ここへ来るだけでくたびれる体です。

佐藤玄：自然の会には職人芸の人がいっぱいいます。その人たちを引き連れて、営繕の会に入っています。道具もそろっています。匠の技ができる人がいます。

小谷：私は高齢でボランティアしてもらいたい方ですが、五体満足なのだからする方にも廻らないといけないと思って、パソコン相談を担当しています。最近囲碁でお手伝いをと、講座も始めました。
ボランティアは天に貯金することだと思います。

山田：この2年間早かったです。今後は同じ思いの仲間を増やすことが、この家を存続させていくためにとっても大切なことではないかと考えています。ボランティアは差し出せる時間と余裕があってできることなので、お互いに保険を掛けあう意味で、マンパワーの充実を図らないと先細りになると思いますので。

近藤：パソコンの勉強を楽しみにして来ていただける方がたと、交流できて、私も楽しく参加させてもらっております。2年を経過、53回を欠席することなく、務めさせていただきました。いつまで、できるかわかりませんが、今後ともよろしくお願い申し上げます。